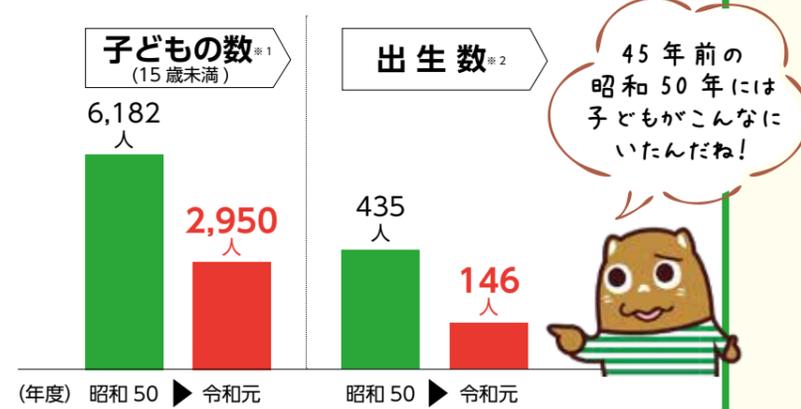


課題

境町で生まれるお子さんが激減しています!! 超少子化!!

町の15歳未満の子どもの数は昭和50年に比べ、約半分に減少するなど、少子化および人口減少が進んでいます。町では、人口減少に歯止めをかけるため、さらに子育て支援を拡充します。様々な取り組みを行う理由を紐解きながら、紹介していきます。

境町の年少人口の推移



45年前の昭和50年には子どもがこんなにいたんだね!

【他市町村との比較】

市町村	子どもの数 ^{※1}		出生数	
	昭和50	令和元	昭和50	令和元
境町	6,182人	2,950人	435人 ^{※2}	146人 ^{※2}
茨城県Y町	5,222人	2,413人	386人 ^{※3}	125人 ^{※3}

【境町の学区ごとの出生数】

学区	境小	長田小	猿島小	森戸小	静小	合計
昭和50年度	144人	80人	72人	86人	53人	435人
令和元年度 (H31.4月～R2.2月)	64人	49人	10人	11人	12人	146人

※1 昭和50年度 (国勢調査/10月1日現在)、令和元年度 (常住人口調査/1月1日現在)
 ※2 境町に住民登録のある方の出生届件数、昭和50年度 (S50.4月～S51.3月)、令和元年度 (H31.4月～R2.2月)
 ※3 茨城県Y町は0歳児の数、昭和50年度 (国勢調査/10月1日現在)、令和元年度 (常住人口調査/1月1日現在)

Q 少子化・人口減少になると何が問題?

このまま子どもの数が減り続けて人口減少が進むとどうなるの?



A 税収が減少し行政サービスが低下します

例えば、少子化と人口減少が進んでいくと、町の税収が減ってしまい、従来通りの様々な行政サービスを提供できなくなります。その場合、税金や水道料金を値上げしなければならなくなります。



人口減少の先にあるもの

財政危機を迎えた自治体の現状

【京都府M市の例】
 令和元年10月、3年後に19億円の累積赤字を見込み、財政再生団体に陥る可能性が発覚。市の試算では、赤字は毎年増え続け令和5年度には40億9,400万円に膨れ上がるとの見通しから、財政健全化に向けて対策案をまとめた。

項目	財政健全化に向けた対策案
人件費	職員数の削減、給与の削減
水道料金	平均33%引き上げ
税金	新税の検討
事業	規模縮小や廃止多数

住民負担は上がり
行政サービスは低下

境町の対応

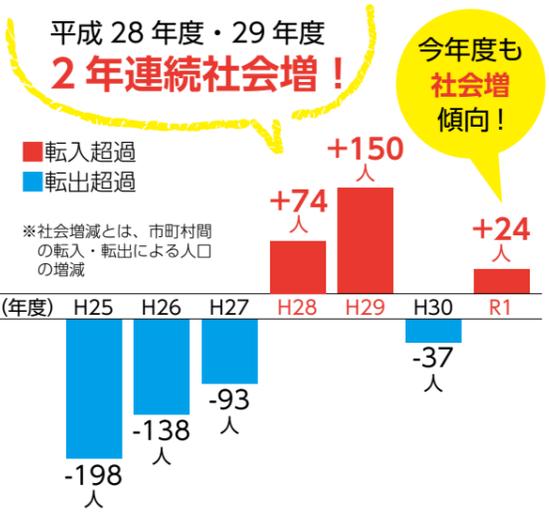
これ以上人口を減らさない!
人口増加を目指して
様々な取り組みを実施中

他市町村から境町への転入者を増やすために様々な取り組みを実施しています。特に子育て支援に力を入れています。



取り組みの効果

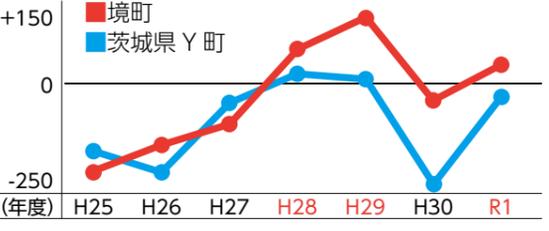
境町の人口減少は下げ止まってきています



【境町と近隣市町村の人口の社会増減数】

市町村	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
境町	-198	-138	-93	+74	+150	-37	+24
茨城県Y町	-157	-198	-39	+8	+4	-251	-22

※各年常住人口調査
 ※令和元年度 (境町は3月1日現在、Y町は2月1日現在)



境町へ引越して来る人が増えてるんだね!

次のページでは子育て支援で人口増加に成功した兵庫県明石市の取り組みを紹介し

魅力あるまちづくりを!

新たな財源を活用し
様々な事業で町を活性化!

町では、住民に選ばれる町を目指して、子育て支援や教育に関する様々な事業を実施しています。この事業は、ふるさと納税や企業からの寄付、国の補助金などの新たな財源を活用することで、町の借金を増やさずに実施しています。
 新しい財源を活用しつつ、町の借金を5年連続で削減することに成功し、将来の借金を表す「将来負担比率」も、県内ワースト一位を脱出することができました。
町が様々な事業に取り組む最大の理由とは?

町が様々な事業に取り組むのには理由があります。今から45年前の昭和50年には、境町全体で435人の子どもが生まれていました。ところが、今年度生まれた子どもの数は146人(令和2年3月1日現在)に減少し、猿島小学校区や森戸小学校区では10人程度という状況です。
 15歳未満の子どもの人口も、昭和50年度の6,182人と比べ、令和元年度には2,950人まで減っており、このまま人口減少が進むと、従来通りの様々な行政サービスを提

供できなくなってしまうと、財政破綻をした北海道夕張市のように、税金や水道料金を上げなくてはならなくなります。そのため、他市町村からの転入者を多く獲得し、人口減少を少しでも緩やかにしていく必要があります。
町の様々な取り組みにより人口減少に下げ止まり傾向!
 今年度は、水戸市、笠間市をはじめ、野田市など近隣から境町の取り組みに関心を持たれた方々が、境町へ転入されるなど、これまで実施してきた取り組みが人口の社会増減に数字として表れ始め、平成28・29年度は2年連続で社会増を達成し、平成30年度は37名の転出超過ではありましたが、今年度は24名の社会増となっており、境町の人口減少は、下げ止まってきていると言えます。

さらなる転入者獲得のため、4月からは、保育料を第2子以降無料に、医療費を中学3年生まで無料にするなど、さらに子育て支援を拡充(6ページで紹介)します。
 今後も様々な事業を実施し、住民に選ばれる魅力あるまちづくりを推進していきます。